

# 飲酒運転撲滅宣言企業

## ダイハツ工業(株)

### ダイハツグループ九州開発センター



#### ○ ダイハツ工業(株)ダイハツグループ九州開発センター様の紹介

ダイハツ工業(株)は、「Light you up」のスローガンを掲げ、グローバルな市場の動きと、技術変化を見据えながらも、地域のお客様一人ひとりを最優先し、一人ひとりが笑顔輝く商品やサービスをご提供する事に取り組んでいます。

その中で九州開発センターは、環境やエネルギー供給問題、少子高齢化などの社会情勢や暮らしの問題に対し、燃費向上技術や電動化などの先進技術の進化と、10年先の暮らしを見据えた次世代モビリティの研究・開発を行っています。



#### ○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ◆ 従業員等への広報啓発活動を行っています。
  - ・朝礼場所、事務所入り口に飲酒運転撲滅ポスターを掲示しています。
  - ・毎週金曜日は、交通安全啓発として動画やドライブレコーダー映像を活用した危険予知教育と飲酒運転撲滅の呼びかけを実施しています。
- ◆ 従業員等が業務上飲酒運転を防止するための取組を実施しています。
  - ・社用車の鍵貸し出し時にアルコールチェッカーで確認しています。
  - また、アルコールチェッカーを業務以外でも使えるように個人へ貸し出ししています。
  - ・毎年4月、従業員全員に交通安全ポスターに飲酒運転撲滅、無事故無違反を誓うための署名を実施しています。
- ◆ 従業員等への社内研修を実施しています。
  - ・交通安全協会様にお越しいただき、交通安全講話の中で飲酒運転の怖さの教育を実施していただきました。
- ◆ その他の取組
  - ・飲酒運転撲滅ステッカーを社用車に貼り付け、また、従業員にも配布し飲酒運転撲滅を呼びかけています。
  - ・のぼり旗を駐車場出入りに設置し従業員や社外からのお客様に飲酒運転撲滅を呼びかけています。

駐車場にのぼり旗を掲げ飲酒運転撲滅を呼びかけています



社用車はアルコールチェックしてから貸し出しをしています

交通安全協会様にお越しいただき、交通安全講話を開催しています

## ○ ダイハツ工業(株)ダイハツグループ九州開発センター様にインタビューに答えいただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 自動車は生活の中で身近な乗り物として多くの人にご愛用されていますが、一歩間違えば、人を傷つける凶器となってしまいます。

自動車を提供する私達が事故を起こし、人を傷つける事は絶対にあってはなりません。

飲酒運転をしない事は当たり前の事として過去から教育されており、現在も引き継がれています。

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 飲酒運転撲滅宣言企業として登録していただき、社内にその登録証を掲示する事で、ダイハツ工業としてだけではなく、この事業所自体も飲酒運転撲滅に取り組んでいる事を従業員に意識していただきました。

また、アルコールチェッカーを個人貸し出し出来るようにした事で、プライベートの飲酒時でも自分の状態を数値で知る事ができ、皆さん楽しんでフーフーしてくれているので意識も高まっています。

(もちろん飲酒時は運転しません)



貸し出し用のアルコールチェッカーを用意し、プライベートの飲酒時でも使用してもらっています。

Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 車は便利なもの。車は楽しいもの。飲酒運転により車を凶器に変えてはなりません。

「飲んだら運転しない」が当たり前となるよう、地元警察や交通安全協会様と協力して飲酒運転撲滅に努めていきます。